

栃木県立矢板高等学校 農業経営科

作物・草花・野菜・果樹・畜産の栽培飼育分野を中心に、「**自分でできる**」ための技術や知識修得を目標として学習しています。多様に変化する環境のなか、人間にとって必要不可欠な食糧生産の手法や販売及び流通に関する実践的な技能を身に付け、**地域に根ざした将来の農業人・農業産業人の育成**を目指しています。

学習の様子



矢
板
高
校



校外での取り組み



地域交流

地域の花壇にて植栽活動の実施や地元農業青年クラブや特別支援学校との交流を行っています。



北海道酪農実習

58年間続いている伝統行事（酪農家へファームステイ）1週間、北海道東部の酪農家にて搾乳体験や大規模農業を経験します。

課題研究の取り組み



家畜の避難誘導

災害が起きた際どのように家畜を避難させるのか本校を起点とした放牧場を活用した取り組みについて活動しています。

取得できる資格一覧

- ・日本農業技術検定・危険物取扱者各種
- ・刈払機取扱作業安全衛生教育
- ・ガス溶接技能講習・フォークリフト運転技能講習
- ・玉掛け技能講習・車両系建設機械運転技能講習
- ・小型車両系建設機械運転特別教育講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習 etc…

おじゃま
しました。

関東農政局栃木県拠点の取材日誌

栃木県立矢板高校

花苗植栽 取材日：令和6年6月1日



青空の下、作業が進められます。



花苗を見映えるようレイアウトします。



市民会議の皆さんとの協同作業。



市長及び市民会議会長と記念撮影。

矢板高校では、令和4年から、地域との連携を重視した教育として、矢板市及び川崎城跡公園再生市民会議と連携し、「川崎城跡公園」の花壇の花苗植栽を行っています。今年は、農業経営科2年生8名が、自ら栽培した約500株の花苗を、市民会議の皆さんと一緒に植栽しました。

植栽作業には、矢板市長も加わり、色とりどりの花を、生徒達のレイアウトに基づき、一株ずつ丁寧に2ヶ所の花壇に植栽しました。

生徒達は、「公園を訪れる皆さんに観てもらえると思うと、やりがいがあります」と、慣れた手つきで、手際よく作業を進めていました。



学校林の間伐研修 取材日：令和6年9月17日



杉の丸太を人力で運搬。



森林組合による指導の様子。



チェーンソーで切断します。



大きな丸太は森林組合が重機で運搬しました。

矢板高校では、学校林の間伐研修として、林業発展の普及活動等を行っている「たかはら森林組合」（矢板市）の職員の指導のもと、農業経営科1年生35人が、杉の切り倒し、玉切り作業、丸太の運搬等の体験及び見学をしました。

チェーンソーの操作指導を受けた生徒達の中には、腰が引けたまま、恐々とチェーンソーで丸太を切断する生徒や、エンジンを始動させることに四苦八苦している生徒もいました。

「入学当時は、こんな授業があるとは思っていませんでした」と笑顔を浮かべる生徒もあり、生徒達にとっては、林業への就業に関し貴重な経験となった様子でした。

伐採された杉は、「たかはら森林組合」の職員が杭に加工して、矢板高校の農場等の整備に使用されます。